



公益財団法人 がん研究会有明病院 放射線治療部

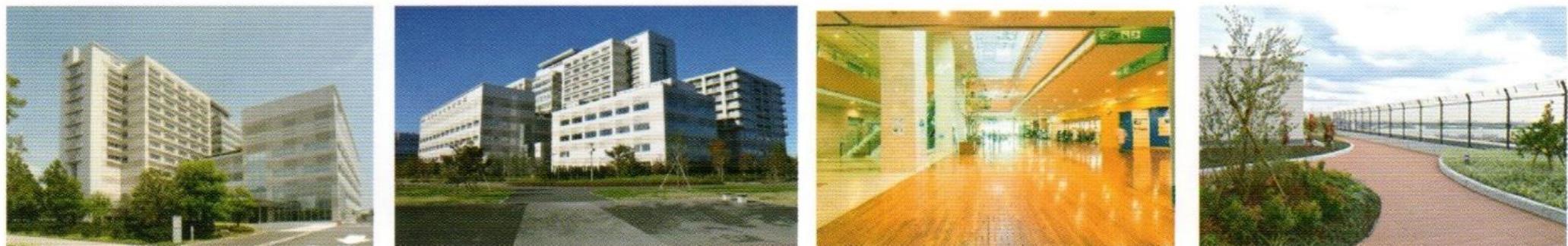
- 1 多数の高精度放射線治療機器が整備されました
- 2 熟練専門スタッフ：臓器別専門の放射線腫瘍医+多数の放射線治療技師+医学物理士
- 3 日本最初の癌治療病院であり、希少癌を含めて極めて多数例の経験があります
- 4 専門家集団 Cancer board による最適治療の検討
- 5 放射線治療部門システムによる安全管理運営体制があります
- 6 海外の先端的がん専門病院と連携しています
- 7 その結果、低毒性・高治癒率の放射線治療を実現しています

切らずに治す

御案内

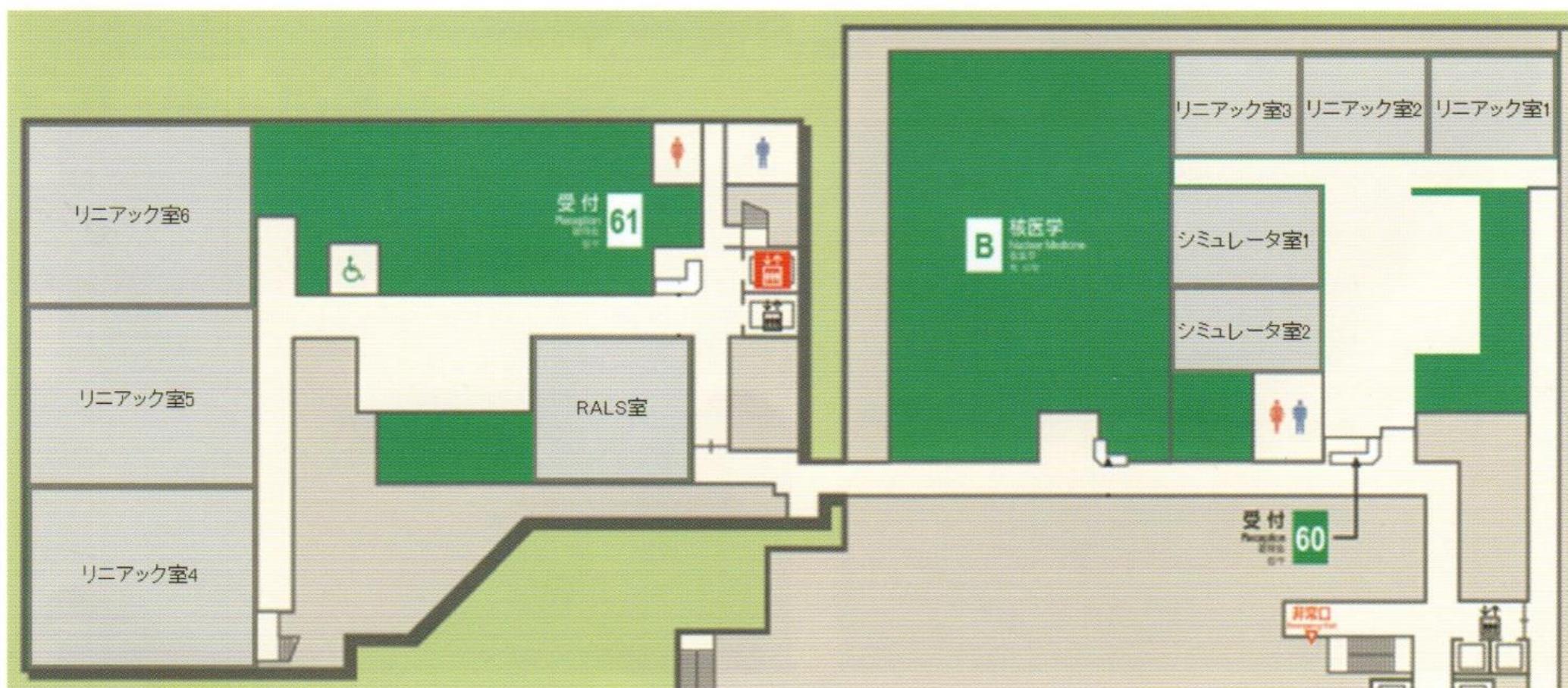
平素より大変お世話になっております。多くの患者さんのご紹介をいただき、誠にありがとうございます。がん研究会有明病院では、2016年1月に新棟が完成し、このたび2017年9月に最新の放射線治療機器の設置が全て終了いたしました。以前は放射線治療機器台数の制約から、院内の患者さんの放射線治療で精一杯でしたが、放射線治療機器の増設により、院外からも患者さんをお受けすることができるようになりました。副作用の少ない高精度放射線治療を、多くの患者さんに行うことができるようになりましたので、御案内申し上げます。

部長 小口正彦



放射線治療部は、病院本館と新棟にまたがって地下1階にあり、容易に行き来できます。外来診療ホールからエレベーターで、本館B1-60番と新棟B1-61番受付に行けます。

初診時には、主受付である本館B1-60番に御案内いたします。



放射線治療機器および関連機器

1 放射線治療計画用の高精細 CT 装置

4次元撮影機能があることで病巣や臓器の呼吸性移動が把握でき、がん病巣を詳細に検出でき、立体的な放射線治療から動画を用いた放射線治療が可能になりました。

2 最先端放射線治療計画ワークステーション

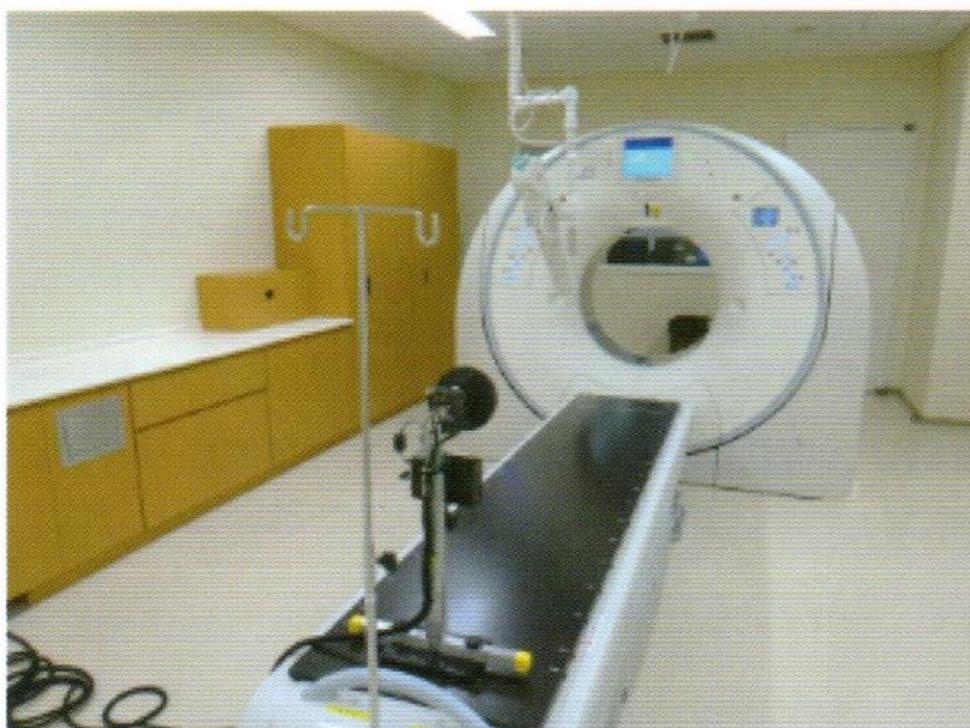
医師・放射線治療技師・医学物理士から構成される熟練した臓器別放射線治療計画チームが、高精度放射線治療計画を迅速かつ個別に立案します。

3 最新リニアック 3台を含めリニアック 6台がそろっています

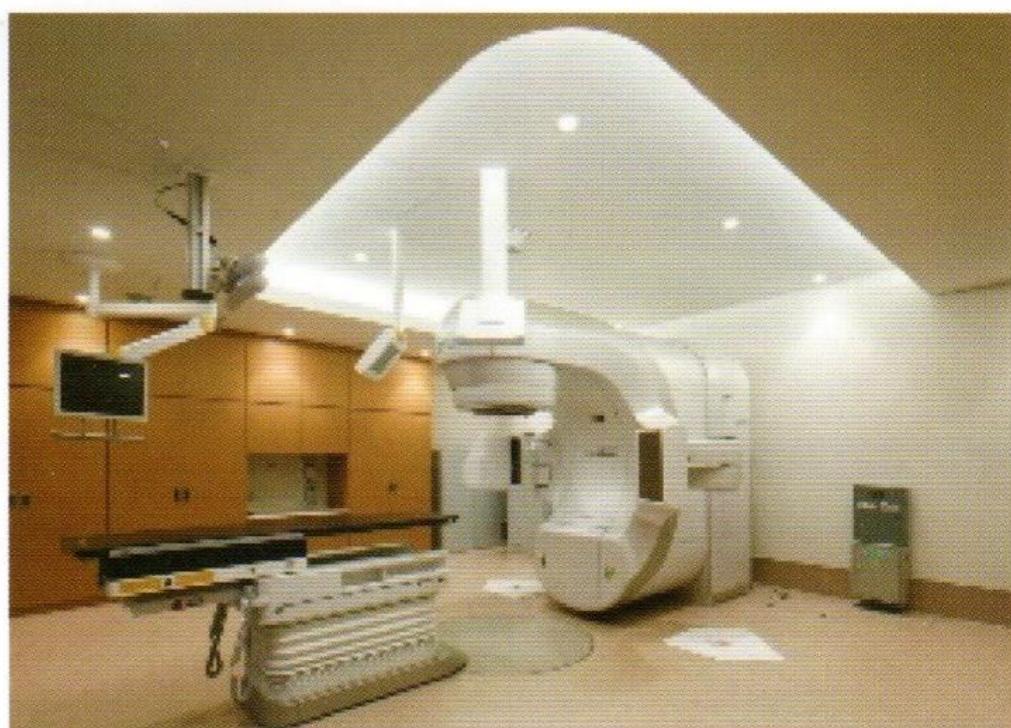
リニアック搭載のCTにてがん病巣の位置を正確に把握し、骨構造画像や金属マーカーによりミリ単位の正確な位置合わせができます。位置ずれは、治療寝台が前後左右頭尾方向に6軸（斜め方向も）に動くことによって精密に修正が可能です。エネルギー調整を行うことにより異なるリニアックでも同じ放射線照射が可能となり、1台が故障しても休止せずに別のリニアックでも治療できるようになりました。呼吸性移動に対応した放射線治療が可能です。強度変調放射線治療（IMRT・がんの形に合わせる照射）・回転型強度変調放射線治療（VMAT・トモセラピーと同じ）・体幹部定位放射線治療（SBRT・ピンポイント照射）を多数の患者さんに行っています。

4 最新画像誘導小線源治療装置

小線源治療では、がん病巣に直接に放射線源を挿入して治療を行います。病巣に大線量を正確に照射することができるため、高い治癒率が得られます。



計画用 CT



リニアック



RALS



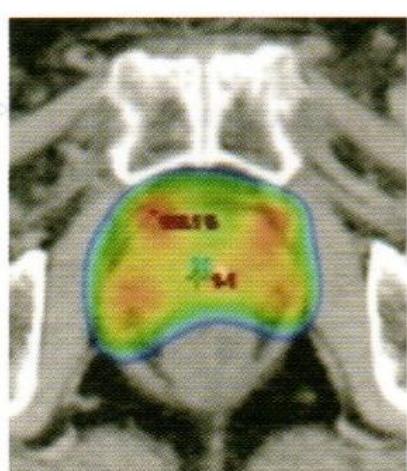
ホール

最新放射線治療実績

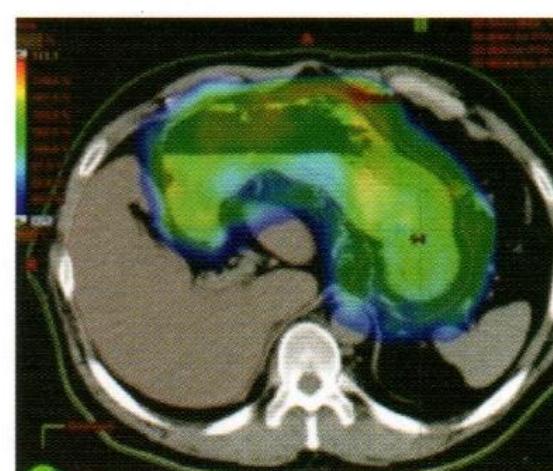
1 強度変調放射線治療 (IMRT・がんの形に合わせる照射) 生存率はがん研究会のものです

回転型強度変調放射線治療 (VMAT・トモセラピーと同じ)

前立腺癌



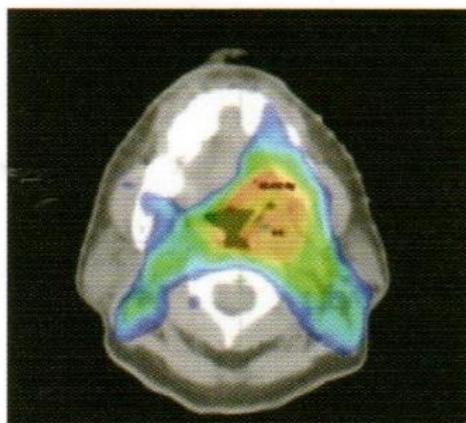
悪性リンパ腫



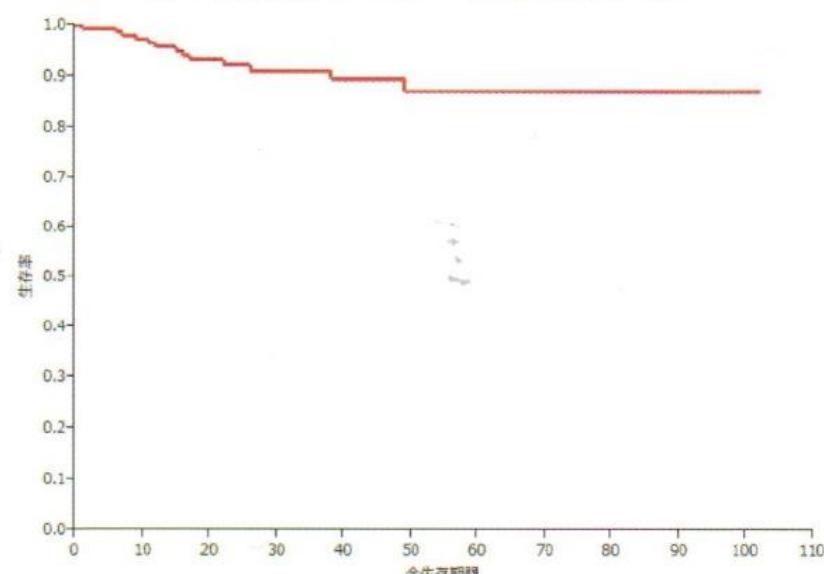
PSA 上昇再発率<5%
排尿排便生殖機能温存

副作用が減少
治療後も普通の生活が送れます

頭頸部癌



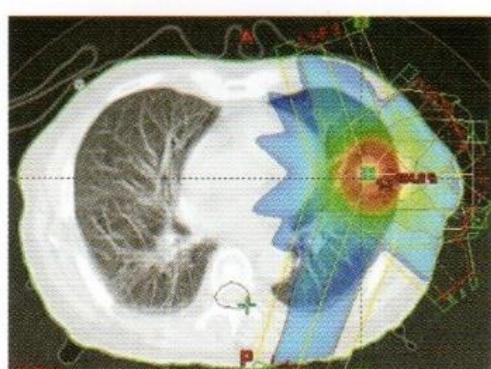
中咽頭がん 全生存率



味覚も声も残せて高い治癒率です

2 体幹部定位放射線治療 (SBRT・ピンポイント照射)

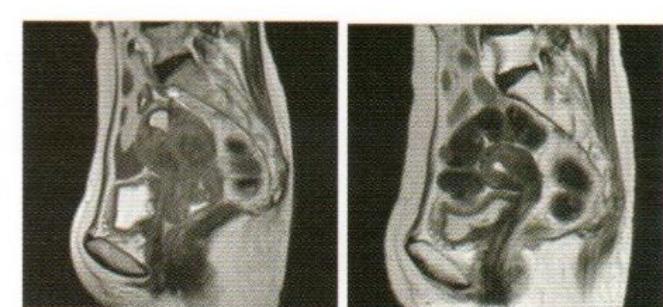
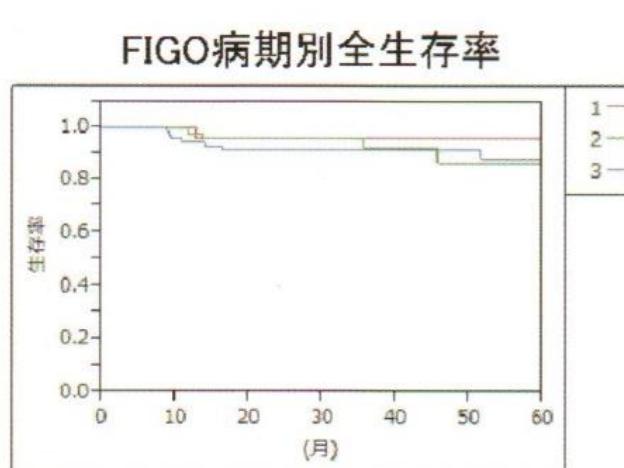
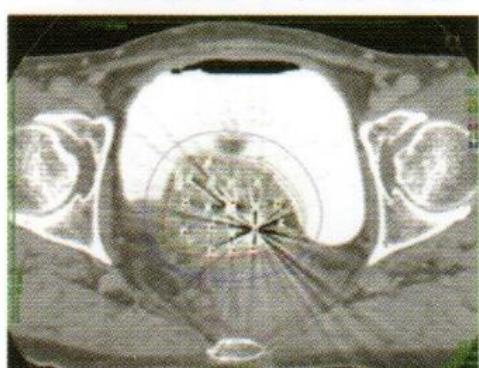
治療期間は4~5日のみ 治療台に30分間横になるだけ 副作用は肺炎が3%だけ



局所制御率 88%

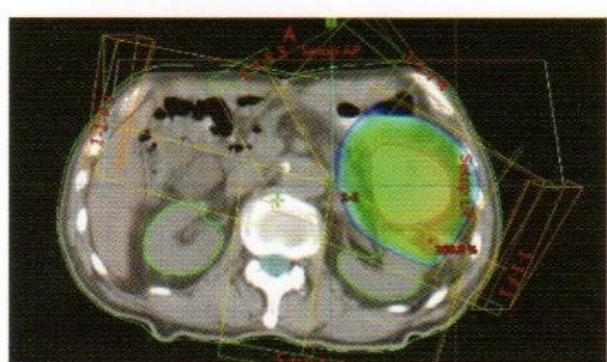


3 画像誘導小線源治療



進行期でも治癒が期待できます

4 緩和照射



骨転移・脳転移などによる
疼痛などの症状は80%緩和されます